



冬の五稜会病院正面です。今シーズンは雪が非常に少なく、除雪も楽だったと思います。新築してから6年目になります。建物は大事に使っています。

令和2年になりました

令和の時代も2年目になりました。今年は東京オリパラがあり、札幌市で開催となったマラソンを楽しみにしていたのですが、コロナウイルスによる新型コロナウイルスの流行で、イベントは自粛ムードとなって、楽しみも半減してしまい残念です。

令和2年2月23日は天皇誕生日で祝日となり、2月24日は振替休日になりました。天皇陛下は60歳の還暦とのことです。天皇陛下は、お祝いの席で新型コロナウイルスの罹患者や家族に対して、お見舞いの気持ちを述べるとともに、新型コロナウイルスの対策を講じている人や治療に当たっている人の御労苦をねぎらっていらっしゃいました。

我々一人では生きていけません。五稜会病院の医療もそうです。みんなの力があってこそです。常に感謝の気持ちを忘れてはならないと切に思います。

皆様のご健康を祈念しております。

医療法人社団五稜会病院理事長・院長：中島公博

五稜会病院の理念

情熱と個々への配慮

- 1 患者さんの病前の社会背景と病状を理解し、個々を尊重する治療に努める。
- 2 医療の情報開示を行い、患者さんとの信頼関係を大切に医療を行う。
- 3 地域医療連携を密にし、精神科・心療内科の基幹病院としての役割を担う。
- 4 臨床研究を行いながら、優れた医療人の育成に努める。

学会・研究発表

五稜会病院では、最新の医療を提供出来るように、日々研鑽し努力しております。今年も例年通り、札幌市病院学会、北海道病院学会、日本精神科医学学会学術大会などの地方会、全国学会、研究会へ積極的に参加しています。

御案内

★第40回札幌市病院学会 令和2年2月1日

「地震災害時における精神科訪問看護師の役割とは」 庄司典子  
「本人を中心とした多職種協働がIT化・WLBにもたらす影響について」 佐藤ゆかり  
「精神科看護師が仕事へ向かう気持ちの切り替えについての一考察～IT化を用いて～」 大野麻理

★第45回札幌市医師会医学学会 令和2年2月16日

「民間の単科精神科病院における精神鑑定126件の検討」 中島公博

医療観察		簡易鑑定	本鑑定		総計
(判定医)	鑑定入院	簡易鑑定	起訴前	裁判所囑託	鑑定
(17)	9	75	38	4	126
	26	75	42		

精神鑑定とは、検察庁や裁判所が当事者などの精神状態・責任能力を判断するため、精神科医などの鑑定人に対して命じる鑑定の一つ。当院では多数の事例があります。

★第45回日本心神医学学会北海道支部例会 令和2年2月23日

「頭痛保有者の痛みへの対処と不眠症状との関連について」  
新型コロナウイルスの影響で中止となりました。 宮村真季

刈ゲン版訪問家族支援基礎研修（仙台） 令和2年2月

講師：吉野賀寿美

企業とワークをつなぐ会（WORC） 令和2年3月10日

プロトタイプ体験会講師：清水陽平

令和2年3月

製薬会社主催の講演会 2件 延期です。  
中島公博が座長を務める予定でした。

患者さんの権利綱領

五稜会病院の職員は、患者さんの次の権利を順守して日々の医療を行います。

- 1 安全で適正な医療を公平・平等に受ける権利
- 2 個人の生き方、信条、尊厳などが尊重される権利
- 3 病状、検査結果、治療方法・結果などについて、納得のいく説明を受ける権利
- 4 十分な説明や情報提供のもとで、どのような医療を受けるかを選択する権利
- 5 如何なる不利益を受けることなく、検査・治療などを拒否する権利
- 6 希望によりセカンドオピニオン（他の医師の意見を聴くこと）を受ける権利
- 7 如何なる場合も、個人情報やプライバシーが守られる権利

最近の精神科医療政策のご紹介

★令和2年4月は診療報酬改定★

令和2年度の診療報酬改定率について、医師等の報酬となる診療報酬改定（本体）は、0.55%プラス改定、薬価等を合わせた全体としてはマイナス改定となることが明らかになりました。精神科領域で関係するものを、ご紹介致します。

・精神科急性期病棟におけるクロザピンの普及推進

治療抵抗性統合失調症に対して、クロザピンの普及を図るために新たな急性期の医師加算の項目が出来ました。五稜会病院でもクロザピンは使用していますが、年間6例以上の新規使用の基準があり、実際の使用は難しいと考えております。

・小児特定疾患カウンセリング料

公認心理師が実施する場合の評価を新設し、対象に被虐待児等を含むことを明確化しています。継続的にカウンセリングを行う必要があると認められる場合においても、3月に1回程度、医師がカウンセリングを行うものとしています。

当院では、児童、学童期の不登校の患者さんが多く受診しています。公認心理師の資格を有するスタッフも多く在籍していますので、対象患者さんには算定することになると思います。

★新型コロナウイルス★

一本鎖（+）RNAウイルスで、2019年12月31日に最初に世界保健機関（WHO）に報告されました。

新型コロナウイルスは、2019年～2020年にかけてアウトブレイク（集団発生）中の中国・武漢市で肺炎患者の核酸検査陽性患者サンプルにより、ゲノム配列が決定されています。

予防のポイント

■流水と石鹸による手洗いを頻回に行いましょう。特に外出した後や咳をした後、口や鼻、目などに触る前には手洗いを徹底しましょう。

■咳エチケット：咳やくしゃみをする場合には口と鼻をティッシュや手で覆いましょう。その後、ティッシュは捨て、流水と石鹸で手を洗いましょう。

次の症状がある方は

「帰国者・接触者電話相談センター」にご相談ください。  
・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）  
・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。  
※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

当院は患者さん本位の医療を提供しようと

考えております。

お気づきの点はご相談下さい。

治験のご協力をお願い

現在、当院では「統合失調症」「小児・思春期うつ病」に対する薬剤の臨床治験を行っています。創薬（薬を創りだす）は国家戦略の一部です。臨床治験を行わないと、良い薬を世の中に出すことは出来ません。参加される方には負担軽減としての費用を差し上げています。詳しく知りたい方は主治医にご相談下さい。うつ病（成人）

抑うつ気分、興味喜びの喪失感等の症状があればうつ病の診断になります。抗うつ剤を使っても効果がない場合に、補助として抗精神病薬を加えると改善することもあります。

IRB（治験審査委員会）

治験を実施する際に、倫理性に問題がないか、治験参加者の「人権」と「安全性」に問題が無いかなど、治験の倫理性、安全性、科学的妥当性を審査する組織です。五稜会病院では、月に1回開催しています。

五稜会病院 概要

標榜科名：精神科・心療内科・内科・消化器科

病床数 193床

急性期病棟 48床

ストレスケア・思春期病棟 48床

療養病棟 A 49床

療養病棟 B 48床

従業員数 約200名

医師数 常勤 8名 非常勤 5名

看護師 71名 准看護師 10名

薬剤師 2.5名

臨床検査技師 1名 非常勤 4名

臨床心理士 9名（公認心理師 8名）

作業療法士 10名 スポーツインストラクター 5名

精神保健福祉士 10名

五稜会病院沿革

開設 昭和47年（1972年）

医療法人開設 平成2年（1990年）

編集後記

令和も2年目になりました。いよいよ今年は東京オリパラです。マラソンは札幌市での開催ですので、応援に行きたいと思っています。世界中の人が見ているテレビに映るかも。今から楽しみです（K.N）

発行：令和2年2月25日

〒002-8029

札幌市北区篠路9条6丁目2-3



発行責任者：広報委員 広瀬慎一・今井佐千子

電話：011-771-5660

http://www.goryokai.com

mail：GMC@goryokai.com

## 復職支援デイクア“リワーク ヴィレッジ”リニューアル！

メンタルヘルス不調の復職・再就職を支援する復職支援デイクア“リワーク ヴィレッジ”は、これまで週4回の開催であり復職リハビリとしての不十分さをご指摘いただくことが多かったのですが、昨年12月より開催日数を週5回に増やしプログラムを行っています。開催日数を増やしても復職支援プログラムとしての医療の質は落とすことのないよう、対人関係療法の考え方を取り入れたプログラムや、認知行動療法に関連したプログラムの充実などを図りました。また、当院のリワークは主治医が他院の場合でも利用が可能です。利用の際には主治医との連携が必須と考えており、毎月の報告書や緊急時には電話で連絡するなどの方法で情報の共有をさせていただいています。これまでも多くの他院通院中の患者さんにご利用いただきました。

昨年度より一般社団法人『日本うつ病リワーク協会』が行う施設認定の取得に向け準備を進めており、2020年度の実施を目指しています。ご存じの方も多いと思いますが、この施設認定はリワークプログラムの理念や復職支援において中核をなすプログラムの普及、およびリワーク支援の質の向上を目的とされています。当院で行っている復職支援についても、その質を高めしていくために認定を受ける予定です。

また、プログラムの質だけではなく、そのプログラムを提供するスタッフも専門的な資質が求められます。施設認定の他にスタッフの認定制度も始まっており、当院のスタッフも『リワーク専門スタッフ』の資格を取得しました。今春には『リワーク認定スタッフ』の資格を取得する予定のスタッフもいます。ハード、ソフト両面の充実化を進め、より質の高い復職支援を目指していきたいと思っております。

領域	ポイント	
領域Ⅰ 構造	施設概要	導入
	プログラム	
領域Ⅱ スタッフ	スタッフ配置と医師の関わり	教育・研修
領域Ⅲ 運営	出欠管理	評価
	連携	情報公開

日本うつ病リワーク協会施設認定のたまかな評価項目  
(日本うつ病リワーク協会HPより一部抜粋)

### 認定スタッフ

- ・医師、看護師、保健師、精神保健福祉士、作業療法士、公認心理師の資格を有し、かつ協会会員であること。
- ・常勤または週4日以上のリワークプログラム専従勤務経験が通算1年以上あること。(週3日勤務の場合はリワーク専従勤務経験が通算2年以上)。
- ・当協会が開催する研修会(基礎コースおよび専門コース)を受講していること。

### 専門スタッフ

当協会研修委員会が定める  
実地研修を受け、実地研修  
終了後に与えられた課題に  
ついてのレポートを提出し、  
研修委員会による総合評価  
で審査に合格したもの。

### 指導スタッフ

リワーク専門スタッフのうち、  
年次大会時に行われる  
個別指導と審査を行い、修  
了したもの。

日本うつ病リワーク協会スタッフ認定の概要 (日本うつ病リワーク協会HPより一部抜粋)



五稜会病院の包括的な復職支援の構想図

当法人内には、従業員のサポートを行う『札幌CBT&EAPセンター』があり、メンタルヘルス不調の予防・早期対応および、復職後のサポートを行うことが可能です。また、ストレスケア思春期病棟もあり、入院中から連携をとりながら支援を進められるということが出来ます。働く人のメンタルヘルス不調に対して、予防・早期対応から治療、復職に向けた準備、そして復職後のサポートまで、継ぎ目のないトータルでのサポートが出来るという強みを活かしながら、今後も多くの患者さんのお役に立てられるよう実践を重ねていきたいと思っております。

(リワーク主任 清水陽平)



## 院内保育園『歩歩キッズ』の地域枠園児募集のお知らせ

平成19年の開園以来、五稜会病院院内保育所歩歩キッズは、スタッフ専用の保育施設として運営してまいりましたが、令和2年4月より新たに「地域枠」の園児を募集することになりました。入園対象は下記の通りです。

- <対象年齢> 原則として1～2歳児(0歳及び3歳児以上については応相談)
- <保育時間> 月～土曜日 8:15～18:00(前後多少の延長は応相談)
- <入園条件> 五稜会病院に勤務する方以外でかまいません  
お知り合いやご親族等ご紹介ください
- <相談窓口> 五稜会病院 事務長 田中



尚、地域枠については、5名程度の予定です。

先着順となりますので、ご検討される場合は早めにご連絡ください。